

三宅川第1排水区大規模雨水処理施設整備事業計画（稲沢市）

（様式1）

項目	内容・施策等
選定理由	三宅川第1排水区は、本市の中心市街地であり、宅地化の進展と頻発する短時間降雨による浸水被害が常襲化し、浸水被害の軽減が急務である。こうしたことから、将来の気候変動への対応を踏まえた計画諸元に見直したうえで、稲沢市雨水管理総合計画を策定し、集中的かつ迅速な浸水被害の最小化を目指すものとして当面・中期計画対象区域として位置付けている。なお、三宅川第1排水区は過去10年間に5回以上の浸水実績があり、延べ床上浸水戸数は1戸、延べ床下浸水戸数は24戸である。
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画における対象降雨:62.3 mm/h</li> <li>・目標とする理由：将来の気候変動を踏まえた5年確率</li> <li>・ハード整備による整備水準の目標：62.3mm/h（1/5確率降雨）</li> </ul> <p>② 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i)生命の保護の観点：当該排水区における床上浸水を防止する。</li> <li>ii)都市機能の確保の観点：交通の支障となる道路冠水を防止する。</li> <li>iii)個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。</li> <li>iv)その他：特になし</li> </ul> <p>③ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i)ハード対策 施設整備により62.3mm/hの降雨（1/5確率降雨）において浸水被害を防止することを目的とする。</li> <li>ii)ソフト対策及び自助 施設整備で対象とする降雨量を上回る147mm/hの降雨において、下水道管理者による内水ハザードマップ作成・公表などの情報提供、地域住民等による雨水流出抑制施設や防水板設置など、それぞれの主体が対策を実施することにより、被害をできるだけ小さくする。</li> </ul>

項目	内容・施策等		
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>有</b>（平成20年8月策定済み）</li> <li>・ 策定予定（令和 年 月末策定予定）</li> </ul>		
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者 ・雨水貯留施設の整備 貯留能力 23,000m <sup>3</sup> ・雨水増補管及び分水人孔の整備 排水面積 約 113ha
			下水道管理者以外 ・該当なし

		ソフト 対策	下水道管理者	・内水ハザードマップの作成・公表
			下水道管理者 以外	・水位観測情報の提供（防災安全課） ・降雨情報の収集と提供（防災安全課）
	自 助	ハード 対策		・各戸貯留浸透施設 37 戸 （稲沢市雨水流出抑制施設設置補助金交付要綱） ・防水板設置 10 戸 （稲沢市浸水対策に係る防水板設置補助金交付要綱）
		ソフト 対策		・総合防災訓練（防災安全課）

年度計画（百万円）

名称	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	計
小沢第1増補雨水幹 線・分水人孔	36	25	30	50	110	298	838	693	0	0	0	2,080
10号調整池	36	25	30	0	0	72	72	517	1,560	1,560	1,560	5,432
計	72	50	60	50	110	370	910	1,210	1,560	1,560	1,560	7,512

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<p>&lt;事業評価の内容&gt;</p> <p>被害軽減額：1,486百万円</p> <p>B/C：3.0</p> <p>経済的内部収益率：12.4%</p> <p>&lt;その他の定量的な効果&gt;</p> <p>床上浸水面積（浸水深 0.5m 以上） 3.1ha → 0.5ha</p> <p>床下浸水面積（浸水深 0.1～0.5m未満） 36.8ha → 17.2ha</p>
放流先河 川との調 整状況	<p>現在、放流先河川において目標水準 52mm/h の降雨(1/5 確率降雨)の整備を重点的に進 めている。河川の 1/5 整備後における断面をモデル化し、内水シミュレーションを実施し、 対策施設を計画している。</p>
その他	<p>国府宮駅周辺再整備事業の進捗状況により、事業の完了までに要する期間が 10 年を越 える可能性あり</p>

